

公益財団法人日本郵趣協会

2019年度事業計画

【基本となる考え方】

日本及び世界各国の郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究—これを「郵趣」という。

「郵趣」を通して、郵便切手文化の向上発展に資する、そして、それを未来に継承する。

もって心豊かな潤いのある社会創造に寄与する。

日本郵趣協会が2011年に公益財団法人化し、定款に上記の目的実現を盛り込んで活動して来た間にも年々、社会一般の郵便離れが加速、切手に対する関心を持たない人たちが増加し続けている。けれども、「郵趣」を社会により広く浸透させようと取り組む私たちの基本姿勢に揺るぎはない。協会の活動は一部の好事家や特定の郵趣家だけではなく、初歩者からアドバンスドコレクターまで「郵趣」を愛する全ての人たちを対象にしていることにも変わりがない。

協会の事業を継承・発展させるには、「会員力の増強」と「財政の安定」が何より必要である。会員増強協議会を中心に「展覧会来場者促進&入会キャンペーン」を展開、切手オリエンテーションを通じて新しい切手収集家の発掘、正会員・維持会員・終身維持会員への移籍促進などに取り組む。一方、あらゆる事業の点検・見直しを継続、互いに相乗効果が挙げられるような展開を図り、公益事業資金造成のための協賛企業・団体募集や様々な形で寄付を募ることなどを通して、不断の支出削減、収入財源の確保・拡大に努める。

普及啓発事業では「わかりやすい切手用語集」を新規作成、ホームページ等を通じて「郵趣」情報を社会全般に提供、全国郵趣大会2019(第37回)を9月に大阪市で開催する。展覧会事業では、世界切手まつりスタンプショウ2019(第43回)を4月29日から5月1日の3日間、東京都立産業貿易センター台東館(浅草)で開催、会期中に新天皇即位・改元が予定されることから「切手とともに 新しい時代へ」をテーマに、「改元記念・皇室切手展」等を催す。全国切手展JAPEX2019(第54回)を11月15日から17日の3日間、同館で開催、「動植物国宝70周年切手展」などを催す。

出版事業では『カラー版 日本普通切手専門カタログVol.1戦前編』の刊行準備に着手し、『郵趣』は切手を楽しむ雑誌、前年度にカラー化した『郵趣研究』は専門誌として併存、さらに内容を充実させる。学術調査研究事業では研究発表会(ミニペックス)、郵趣カンファレンス、文化シンポジウムを積極的に開催し、成果を『郵趣研究』やWEBを通して広く発信する。国際文化交流事業では、スタンプショウ2019で日本フィンランド外交関係樹立100周年記念ムーミン切手展を、JAPEX2019で日本オーストリア友好150周年記念及び日本ハンガリー外交関係開設150周年記念ハプスブルク帝国切手展をそれぞれ各国外交機関認定記念事業として開催。国際切手展・アジア国際切手展への文献出品、視察、研究発表、日本郵便(株)のブース出展を通じて先例取得、国際文化交流を推進する。また日本郵便(株)や他の郵便・郵趣組織と連携して、「日本国際切手展2021(仮称)実施計画」の策定・推進・周知にあたる。流通促進事業では充実のための抜本的見直しに取り組み、年6回公開オークションを開催、郵便切手文化の保全と健全な市場の形成を図る。

顕彰事業では国際大賞の見直しを検討する。社会貢献・地域支援事業ではパートナー・サポート企業・団体との協働で広く社会一般に貢献する事業を行い、登録支部・団体が各地域で自主的活動や特性を発揮しながら事業が推進できるように、展覧会及び切手教室への助成などを行う。

1年後に迫った2020年東京オリンピック・パラリンピック大会、2021年の日本郵便創業150周年、協会創立75周年、国際切手展開催。これらを「郵趣」再興の好機と捉えて、任期満了に伴い今年6月に新たに選出される理事を先頭に、各地方本部、委員会、研究会等との体制・連携を密にして、活動に取り組む。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出する。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(郵政記念日の4月20日から1週間)及び10月の「国際文通週間」(万国郵便連合創設記念日の10月9日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。実施テーマにあたっては、地域特性を活かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努める。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体及びパートナー・サポート企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施する。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図る。

① スタンプショウ2019来場者促進キャンペーン

実施期間：2019年2月20日(水)～5月1日(水・祝)

② JAPEX2019来場者促進キャンペーン

実施期間：2019年9月1日(日)～11月17日(日)

③ スタンプショウ2020来場者促進キャンペーン

実施期間：2020年2月20日(木)～4月19日(日)[予定]

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイド、「郵趣スタートガイド」「郵趣リーフ作成ガイド」「日本切手で始めるスタートガイド」「知って得する切手入手ガイド」及び新規作成「わかりやすい切手用語集(仮称)」を有効活用して、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において普及啓発活動を展開する。

(4) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手オリエンテーション「郵趣入門コース」、及び小学生児童を対象とした「楽しい切手ワークショップ」を開催する。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、参加プログラムを通して様々なアドバイスを提供する。

① 切手オリエンテーション「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全6回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施する。切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショウ2020の展覧会会場で実施する。(講座テーマ及び開催日は予定)

[第1回] 講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日：6月15日(土)

[第2回] 講座テーマ「切手など郵趣品の集め方と整理の仕方」、開催日：9月14日(土)

[第3回] 講座テーマ「マイリーフ作成ガイド」、開催日：11月

[第4回] 講座テーマ「マイリーフ作成実習」、開催日：2020年1月18日(土)

[第5回] 講座テーマ「アルバムリーフ作成」、開催日：2020年3月21日(土)

[第6回] 講座テーマ「アルバムリーフ展示と作品鑑賞」、開催日：2020年4月18日(土)

②楽しい切手ワークショップ

小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらう[内容及び開催日は予定]。また、好機をとらえて、どこでも切手教室、出張切手ワークショップ等を開催する。

[第1回] 内容：体験！うちわ作り(切手はり絵)、世界の切手でしおり作り、使用済み切手つかみ取り、ピンセット体験、切手バッジ&切手マグネット作り、開催日：4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

[第2回] 内容：自由研究の作品鑑賞とぼすくまにお手紙を書こう！、ぼすくまショートアニメ上映会、切手デザイナーのおはなし会「ゆうびんと切手の世界」、ぼすくまと遊ぼう！じゃんけん大会、開催日：8月25日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

[第3回] 内容：年賀状の書き方、クリスマスカードの書き方、開催日：12月7日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

(5) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な出版物を広く全国の公立図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与する。

(6) WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページに適時掲載し、広く社会一般に公開、提供する。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努める。さらに、公式フェイスブック、公式ツイッター等のSNSを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図る。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催する。

①全国郵趣大会2019in大阪(第37回)

会期：9月21日(土)・22日(日)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、後援：日本郵便(株)近畿支社[予定]、企画運営：関西地方本部

②全国郵趣大会2020in山口(第38回)[準備作業]

会期：2020年9月[予定]、会場：未定(山口市、湯田温泉)、後援：日本郵便(株)中国支社、(一財)山口観光コンベンション協会[以上予定]、企画運営：中国・四国地方本部

③日本郵趣協会創立75周年記念事業 全国郵趣大会2021(第39回)[準備作業]

会期：2021年9月[予定]、会場：未定(東京都または横浜市)、後援：日本郵便(株)[予定]、企画運営：関東地方本部、創立75周年記念事業委員会

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①防府切手のつどい2019春

会期：4月7日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県

防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

②福山切手のつどい2019

会期：5月5日(日)、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

③静岡県郵趣の集い2019in静岡

会期：6月16日(日)・17日(月)、会場：三保園ホテル(静岡市、三保はごろも温泉)、主催：中部地方本部、静岡支部

④岡山切手のつどい2019

会期：6月23日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

⑤新潟県郵趣の集い2019in長岡(第25回)

会期：6月30日(日)、会場：アトリウム長岡[新潟県教職員互助会館](新潟県長岡市)、主催：中部地方本部、長岡支部

⑥筑後地方切手のつどい2019(第21回)

会期：7月21日(日)、会場：小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑦防府切手のつどい2019夏

会期：8月4日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑧切手だいすき集まれ!

会期：11月23日(土・祝)、会場：エディオンアリーナ大阪[大阪府立体育会館](大阪市)、主催：関西地方本部

⑨こうち切手のつどい2019

会期：11月[予定]、会場：未定(高知市)、主催：中国・四国地方本部、高知支部

⑩防府切手のつどい2019冬

会期：2019年12月1日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑪広島切手のつどい2020

会期：2020年2月1日(土)、会場：ホテルチュウリッヒ東方2001(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑫北九州切手のつどい2020

会期：2020年2月9日(土)、会場：アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：(公財)西日本産業貿易コンベンション協会、日本郵便(株)北九州中央郵便局[以上予定]

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図る。また、積極的にパートナー・サポート企業・団体との協働プロジェクトを推進し、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応える。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり スタンプショー2019(第43回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「改元記念 華ひらく皇室切手展」、「日本フィンランド外交関係樹立100周年記念 ムーミン切手展」の開催、フリースタイル切手展2019、第20回トピカル切手展の作品を公募する。また、パートナー・サポート企業・団体と協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図る。

開催テーマ：「切手とともに 新しい時代へ」、会期：4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、フィンランド大使館、フィンランド政府観光局、東京新聞[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)サカモト、(株)虎屋、(株)ながとも、(株)八丁幸、富士急行(株)、(株)不二家、町田酒造(株)、(株)渡辺護三堂[以上予定]、協力：(株)箸勝本店、切手の博物館、郵政博物館、ムーミンワールド、フィンランド郵政、「えいがのおそ松さん」製作委員会[以上予定]、beyond2020プログラム[認証事業]

②世界切手まつり スタンプショー2020(第44回) [準備作業]

広く一般の方々に郵便切手文化を身近なものとして楽しんでもらえるように開催テーマを設定し、企画展示及び企画イベントの実施計画について運営準備を進める。また、協力いただけるパートナー・サポート企業・団体の協賛を募る。

企画展示：「切手で彩る食文化(仮称)」、「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展(仮称)」の準備作業、会期：2020年4月17日(金)～4月19日(日)[予定]、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)[予定]、協賛：日本郵便(株)他[予定]、協力：切手の博物館、郵政博物館[以上予定]、東京2020応援プログラム[認証事業](予定)

③第54回全国切手展(略称:JAPEX2019)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「動植物国宝70周年切手展」、日本オーストリア友好150周年記念及び日本ハンガリー外交関係開設150周年記念「ハプスブルク帝国切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募する。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与される。併せて、公式ガイドブック、精選コレクション集及び記念出版物を刊行して、研究発表の成果を広く一般に公開する。

開催テーマ：「郵趣元年、さあ集めよう!」、会期：11月15日(金)～11月17日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、オーストリア共和国大使館、ハンガリー大使館、オーストリア文化フォーラム、東京新聞[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、カルトールセキュリティプリンティング社[以上予定]、協賛：(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)[以上予定]、協力：オーストリア政府観光局、日本ハンガリー友好協会、オーストリア郵政、ハンガリー郵政、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合[以上予定]、beyond2020プログラム[認証事業]

④第55回全国切手展(略称:JAPEX2020) [準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させるため、企画出品、特別出品及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進める。

企画出品「台湾切手展1895-1945(仮称)」、特別出品「ベートーヴェン生誕250周年 音楽切手展(仮称)」の準備作業、会期：2020年11月13日(金)～11月15日(日)[予定]、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)[予定]、後援：外務省、ドイツ大使館、(公財)日本台湾交流協会[以上予定]、協賛：

日本郵便(株)他[予定]、協力：ベーターヴェン・ハウス、ドイツ観光局[以上予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2019(第10回)

会期：4月28日(土)・29日(日)、会場：市民交流プラザIKODE瓦町(香川県高松市)、主催：中国・四国地方本部、高松支部

②スタンプショウ=ヒロシマ2019(第36回)

会期：5月11日(土)・12日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ=ヒロシマ組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社 [以上予定]

③スタンプショウくだまつ2019

会期：6月15日(土)・16日(日)、会場：スターピアくだまつ[下松市文化健康センター](山口県下松市)、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社 [以上予定]

④第10回楽しい切手展in横浜

会期：6月23日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、主催：関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社 [以上予定]

⑤大阪切手まつり2019(第21回)

会期：7月15日(月・祝)、会場：大阪駅前第3ビル(大阪市)、主催：関西地方本部

⑥スタンプショウふくやま2019(第40回)

会期：8月[予定]、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社 [以上予定]

⑦彩PEX2019(第20回)

会期：9月[予定]、会場：アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉新聞、埼玉県郵趣連合 [以上予定]

⑧スタンプショウかごしま2019(第22回)

会期：10月5日(土)・6日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム[以上予定]

⑨大阪秋の切手展2019(第7回)

会期：10月12日(土)・13日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社 [以上予定]

⑩スタンプショウはかた2019(第30回)

会期：10月19日(土)・20日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2019実行委員会、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社[以上予定]

⑪中部スタンプショウ2019in浜松(第18回)

会期：10月26日(土)・27日(日)、会場：浜北プラザホテル(愛知県浜松市)、主催：中部地方本部、浜松支部、後援：日本郵便(株)東海支社、中日新聞社[以上予定]

⑫関西スタンプショウ2020(第33回)

会期：2020年3月7日(土)・8日(日)、会場：大阪駅前第3ビル(大阪市)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社 [以上予定]

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設ける。

①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募要項・出品申込書の作成・配布

②JAPEX2019ルールブックの作成・配布

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

④審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

⑤応募作品のデータベース化

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図る。また、国際切手展報告会を開催し、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行する。

(1) 書籍及び研究報告書

①郵趣モノグラフ

A.「戦後ステーショナリーは使用済みが面白い」(8月刊行予定)

B.「重量便カバーの分類と収集(仮称)」(11月刊行予定)

②第54回全国切手展『JAPEX2019精選コレクション集』(12月刊行予定)

③JAPEX2019記念出版『第1次動植物国宝 - 銭位(仮称)』(2020年3月刊行予定)

④日本郵趣協会創立75周年記念事業『戦後の日本郵趣史(仮称)』[刊行準備作業]

⑤研究報告書

(2) 定期刊行物

①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行

②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行

③郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行

④WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信

⑤WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信

⑥WEB版『郵趣研究』隔月刊/6回配信

(3) 切手カタログ

①『さくら日本切手カタログ2020』(4月20日刊行)

②『旧中国切手カタログ』(6月刊行予定)

③『テーマ別切手カタログVol.5 動物編(仮称)』(7月刊行予定)

④『新中国切手カタログ2020』(12月刊行予定)

⑤日本郵趣協会創立75周年記念出版『カラー版 日本普通切手専門カタログVol.1戦前編(仮称)』[刊行準備作業]

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会<ミニペックス>、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催し、広く一般に知的情報の公開・周知を図る。

(1) 研究会

専門分野に関する学術調査研究の充実・発展を図る組織として、専門分野ごとの研究会の充実を図るとともに、未分野の研究会設置を促進する。全国規模の展覧会においては、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施する。

(2) 研究発表会 (ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開する。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施する。[研究発表名は予定]

①第34回昆虫切手展

会期：6月8日(土)・9日(日)、研究発表：昆虫切手研究会

②イギリス切手研究会切手展2019

会期：6月15日(土)・16日(日)、研究発表：イギリス切手研究会

③第17回絵画切手展

会期：6月22日(土)・23日(日)、研究発表：絵画切手研究会

④アメリカ切手展2019<america'19>

会期：7月3日(水)～7月7日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

⑤第10回世界の植物切手展

会期：7月12日(金)～7月14日(日)、研究発表：植物切手研究会

⑥JPS航空郵趣研究会展2019 AEROPEX2019 ー飛行郵便試行100年記念ー

会期：9月28日(土)・29日(日)、研究発表：航空郵趣研究会

⑦第16回震災切手と震災郵趣展

会期：10月4日(金)～10月6日(日)、研究発表：震災郵趣研究会

⑧ウィーン国立歌劇場150年 音楽切手展

会期：10月12日(土)・13日(日)、研究発表：音楽切手研究会

⑨第19回ドイツ切手展 Germania2019

会期：11月22日(金)～11月24日(日)、研究発表：ドイツ切手研究会

⑩第11回テーマティック研究会切手展

会期：2020年1月10日(金)～1月13日(日)、研究発表：テーマティック研究会

⑪パソコン郵趣切手展2019

会期：2020年3月7日(土)・8日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会

⑫菊・田沢MINIPEX2020

会期：2020年3月13日(金)～3月15日(日)、研究発表：菊・田沢切手研究会

⑬第12回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：2020年3月21日(土)・22日(日)、研究発表：聴覚障害者切手研究会

(3) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、この知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催する。また郵趣カンファレンスにおける発表・意見交換会を踏まえて、その学術事例を出版物またはホームページを通して発表・公開する。[発表テーマは未定]

①SINGPEX2019における世界的先進学術事例

会期：9月[予定]、会場：切手の博物館(豊島区)

②テーマティック収集の郵趣先進学術事例

会期：2020年1月11日(土)[予定]、会場：切手の博物館(豊島区)

③田沢型切手の郵趣先進学術事例

会期：2020年3月14日(土)[予定]、会場：切手の博物館(豊島区)

(4) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の多様な形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出する。[文化シンポジウム名及び講師・ゲストは予定]

①会期：4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場：スタンプショウ2019／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

A 研究発表「絵画切手の研究事例」、プレゼンター：江村清氏

B. 講演会「風景印&小型印と郵頼～郵趣のための押印サービス～」、講師：富澤昇吉氏

C. 講演会「『WEB郵趣研究』と『WEB郵趣ウィークリー』の楽しみ方」、講師：横山裕三氏

D. 講演会「ムーミン切手とフィンランドの魅力～フィンランドのムーミン切手～」、講師：木村正裕氏

E. 講演会「切手もの知り劇場～マニアも知らなかった話～」、講師：田辺龍太氏

F. 講演会「風景印アイデア便り～第7回FKD48総選挙～」、講師：古沢保氏

G. トークショー「平成シリーズ切手を語る」、ゲスト：森田基治氏

H トークショー「ムーミン切手とフィンランドの魅力～日本のムーミン切手～」、ゲスト：中丸ひとみ氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、木村正裕氏

I. トークショー「皇室切手秘話～平成から新たな時代～」、ゲスト：貝淵純子氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、井上卓朗氏

②会期：9月21日(土)、会場：全国郵趣大会2019in大阪／ホテルグランヴィア大阪(大阪市)。

A. 講演会「戦後ステーションナリーは使用済みが面白い」、講師：天野安治氏

③会期：11月15日(金)～11月17日(日)、会場：第54回全国切手展／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

A. 研究発表「植物切手の研究事例」、プレゼンター：植物切手研究会

B. 講演会「重量便カバーの分類と収集」、講師：中世古誠氏

C. 講演会「古典芸能切手の世界」、講師：中村雅之氏

D. 講演会「風景印マッチング～国際文通週間・東海道五十三次～」、講師：古沢保氏

E. パネルディスカッション「動植物国宝切手」、パネリスト：赤塚東司雄氏、水谷行秀氏、山路晴名氏

F. トークショー「国際文通週間切手～歌川広重・東海道五拾三次の世界～」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

G. トークショー「ハプスブルク帝国の歴史と切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

④会期：12月22日(日)、会場：切手の博物館のクリスマス／切手の博物館(豊島区)。

A. トークショー「冬のグリーティング切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

(5) 研究助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び学術的に質の高い研究成果の発表・公開に対して、研究助成を実施する。[会場はいずれも切手の博物館、研究発表名は予定]

①第3回映画・演劇人の手紙展

会期：4月19日(金)～4月21日(日)、主催：玉木淳一氏

②「魚木式郵趣」展

会期：5月10日(金)～5月12日(日)、主催：魚木五夫氏

③第4回切手フェスタ

会期：8月30日(金)～9月1日(日)、主催：切手フェスタ実行委員会

④第15回中国郵票展

会期：2020年1月25日(土)・26日(日)、主催：福井和雄氏

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

(1) 各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

各国外交機関による周年記念事業認定のもと、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努める。

①日本フィンランド外交関係樹立100周年記念事業[認定事業]

名称：ムーミン切手展 (Moomin Stamp Exhibition)、会期：4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、フィンランド大使館、フィンランド政府観光局、協賛：日本郵便(株)、協力：ムーミンワールド、フィンランド郵政

②日本オーストリア友好150周年記念事業[認定事業]及び日本ハンガリー外交関係開設150周年記念事業[認定事業]

名称：ハプスブルク帝国切手展 (Habsburg Monarchy Stamp Exhibition)、会期：11月15日(金)～11月17日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、オーストリア大使館、ハンガリー大使館、オーストリア文化フォーラム、協賛：日本郵便(株)、協力：オーストリア政府観光局、日本ハンガリー友好協会、オーストリア郵政、ハンガリー郵政[以上予定]

(2) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進する。

①国際切手展CHINA2019への文献出品、視察、研究発表

会期：6月11日(火)～6月17日(月)、会場：湖北武漢国際博覧会センター(中国・武漢)

②アジア国際切手展SINGPEX2019への文献出品、視察、研究発表

会期：7月31日(水)～8月4日(日)、会場：サンテック・シンガポール国際会議展示場(シンガポール)

③アジア国際切手展NEW ZEALAND2020への文献出品、視察、研究発表

会期：2020年3月19日(木)～3月22日(日)、会場：エラズリー・イベントセンター(ニュージーランド・オークランド)

(3) 日本国際切手展2021

郵便切手類と郵便制度の世界的先進学術事例を広く公開するとともに、日本の郵便制度150周年を契機

に郵便切手文化のより一層の普及・拡大を図るため、「日本国際切手展2021(仮称)」を開催する。その成功に向けて、国際切手展における<JAPAN POST>(日本郵便)ブースの出展(予定)を通して「日本国際切手展2021(仮称)」の周知を図り、日本郵便(株)をはじめ他の郵便、郵趣組織と連携して実施計画の策定・推進にあたる。

①国際切手展CHINA2019へのブース出展

会期：6月11日(火)～6月17日(月)、会場：湖北武漢国際博覧会センター(中国・武漢)

②アジア国際切手展SINGPEX2019へのブース出展

会期：7月31日(水)～8月4日(日)、会場：サンテック・シンガポール国際会議展示場(シンガポール)

③アジア国際切手展NEW ZEALAND2020へのブース出展

会期：2020年3月19日(木)～3月22日(日)、会場：エラズリー・イベントセンター(ニュージーランド・オークランド)

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展

東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、スポーツの祭典だけでなく文化の祭典でもある。東京2020大会を通じて郵便切手類が持つ文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、東京2020応援プログラム認証事業「小さな切手が世界をつなぐ アテネから東京へ～東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展～(仮称)」の開催計画について運営準備を進める。また、東京2020大会をレガシーとして未来に継承するため、東京2020大会に関する郵便切手類の保存・記録に取り組む。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図る。

①第521回 開催日：4月30日(火・休)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第522回 開催日：7月6日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第523回 締切日：9月17日(火)、メールオークション

④第524回 開催日：11月16日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第525回 開催日：2020年1月18日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

⑥第526回 締切日：2020年3月10日(火)、メールオークション

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

①第40回中島健蔵・水原明窗記念賞

- ②国際大賞（トレーシー・ウッドワード記念賞）
- ③第39回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）
- ④第39回郵趣文献賞
- ⑤第36回小倉謙賞
- ⑥第34回住野正顕賞
- ⑦登録支部・団体50周年特別表彰

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開する。

- ①第40回中島健蔵・水原明窗記念賞は、記念すべき式典において受賞者を発表するとともに、授賞式及び記念講演会(記念展示)を公開で実施する。
- ②第39回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第39回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2019in大阪において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
- ③第36回小倉謙賞及び第34回住野正顕賞は、第54回全国切手展JAPEX2019において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
- ④登録支部・団体50周年特別表彰は、全国郵趣大会2019in大阪において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進するため、パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行う。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2019」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指す。そのため、日本郵便(株)をはじめとした多様なパートナー・サポート企業・団体の協賛を得て実施する。

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2019(第8回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募する。文化・歴史・自然に関する知識・研究を深めることで郵便切手文化の普及を図るとともに、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるように教育機関等への周知に努める。

発表会：8月23日(金)～8月25日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)、後援：文部科学省、(公社)日本PTA全国協議会、日本教育新聞社、読売KODOMO新聞、豊島区教育委員会[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(一財)水原フィラテリー財団、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デザート、富士急行(株)、(株)不二家、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ [以上予定]、beyond2020プログラム[認証事業]

②タイムカプセル郵便(未来への手紙)

手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、その時代の文化を未来にレガシーとして継承するため、メッセージとなる記録を手紙というツールを通じて、最大10年先まで保管して郵便として届ける。また、日本郵便(株)をはじめとしたパートナー・サポート企業・団体と協働して普及を図る。

募集期間：4月1日(月)～2020年3月31日(火)[通年]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(一財)水原フィラテリー財団、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ [以上予定]、東京2020応援プログラム[認証事業](予定)

※日本郵政(株)の商標登録使用許諾事業として実施

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り、郵便切手文化の魅力を見つけてもらうため、お手紙コーナー及びデコレーションポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービス等を実施する。

A. Otegamiフリマ2019 SUMMERコレクション 会期：5月17日(金)・18日(土)

B. Otegamiフリマ2019 AUTUMNコレクション 会期：8月23日(金)・24日(土)

※ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2019とのジョイント開催

C. Otegamiフリマ2019 WINTERコレクション 会期：11月16日(土)・17日(日)

D. Otegamiフリマ2020 SPRINGコレクション 会期：2020年2月22日(土)・23日(日)

会場：A. C. D. は切手の博物館(豊島区)、B. は目白・椿ホール(豊島区)、共催：(一財)水原フィラテリー財団、協賛：日本郵便(株)、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ [以上予定]、協力：青少年ペンフレンドクラブ(予定)

④手紙ワークショップ

手紙が本来持っている「想いを伝える力」や新たな手紙コミュニケーションの魅力を見つけてもらうため、手紙を書いて、宛名を書き、切手を貼り、郵便局臨時出張所で小型印等の記念押印をしてもらい、郵便ポストに投函するという一連の流れを体験してもらう。

A. 贈って楽しい、もらって嬉しい小型印・風景印

会期：4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

B. ぼすくまにお手紙を書こう！[ぼすくまからのお礼のポストカードの実施]

会期：8月23日(金)～8月25日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

C. クリスマスdeお手紙[切手デザイナーによるオリジナル・クリスマスカードの制作・頒布]

会期：12月6日(金)～12月25日(水)、会場：切手の博物館(豊島区)

D. バレンタインdeお手紙

会期：2020年2月1日(土)～2月14日(金)、会場：切手の博物館(豊島区)

協賛：日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ [以上予定]

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体制度を活用して連携・強化を図り、各地域における自主的活動や特性を發揮しながら効果的な事業が推進できるように支援する。

①地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

②郵便切手文化活動への広報協力

③地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応える。

①日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト

②分冊百科『世界の切手コレクション』（全260巻予定）の監修・刊行

③青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

(4) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めてボランティア活動への市民参画の促進を図るため、体験情報を発信し、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進する。

①郵趣のための押印講習会（押印技能認定制度）

②展覧会運営ボランティアの公募

(5) 公益活動への支援

様々な主体の参加を通して協働を促進する活動、営利を目的としない自主的・自発的な社会貢献活動である公益活動を担っている団体への支援を行う。

①切手バザール(全8回) [主催：(一財)水原フィラテリー財団]

②全日本切手展2019(第69回)、会期：7月19日(金)～7月21日(日)[予定]、[主催：全日本切手展実行委員会、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合]

③切手の博物館のクリスマス、会期：12月6日(金)～12月25日(水)、[(一財)水原フィラテリー財団共催]

④切手の博物館でバレンタイン、会期：2020年2月1日(土)～2月14日(金)、[(一財)水原フィラテリー財団共催]

⑤第23回目白ロードレース、会期：2020年3月[予定]、[主催：目白ロードレース実行委員会]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協賛していただける企業・団体の募集、幅広く多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形での寄付を募る。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当する。

(1) パートナー・サポート企業・団体の募集

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

(3) 財政安定化寄附金（一般寄附金）

(4) スタンプショウ2019寄附金（特別寄附金）

(5) JAPEX2019寄附金（特別寄附金）

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けたキャンペーン活動を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供する。

①春の入会キャンペーン、秋の入会キャンペーン

スタンプショウ2019来場者促進、JAPEX2019来場者促進との連携

②地方本部主催の展覧会等における会員増強活動

移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い)

③会費自動引き落としキャンペーン

会員継続のお願い、再入会ダイレクトメール、口座自動引き落としの利用拡大

④『郵趣研究』購読者拡大キャンペーン

⑤『正会員会報』月刊／12回発行

⑥「郵趣手帳 (Philatelic Diary) 2020-2021」の制作・配布

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図る。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2020

会期：2020年1月18日(土)[予定]、会場：リュド・ヴィンテージ目白(豊島区)

②大阪・新春交歓会2020

会期：2020年1月13日(月・祝)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2019in郡山(第29回)

会期：6月8日(土)・9日(日)、会場：磐梯熱海温泉・清稜山倶楽部(福島県郡山市)、主催：北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2019in湘南(第35回)

会期：6月29日(土)、会場：藤沢市民会館(神奈川県藤沢市)、主催：関東地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。